

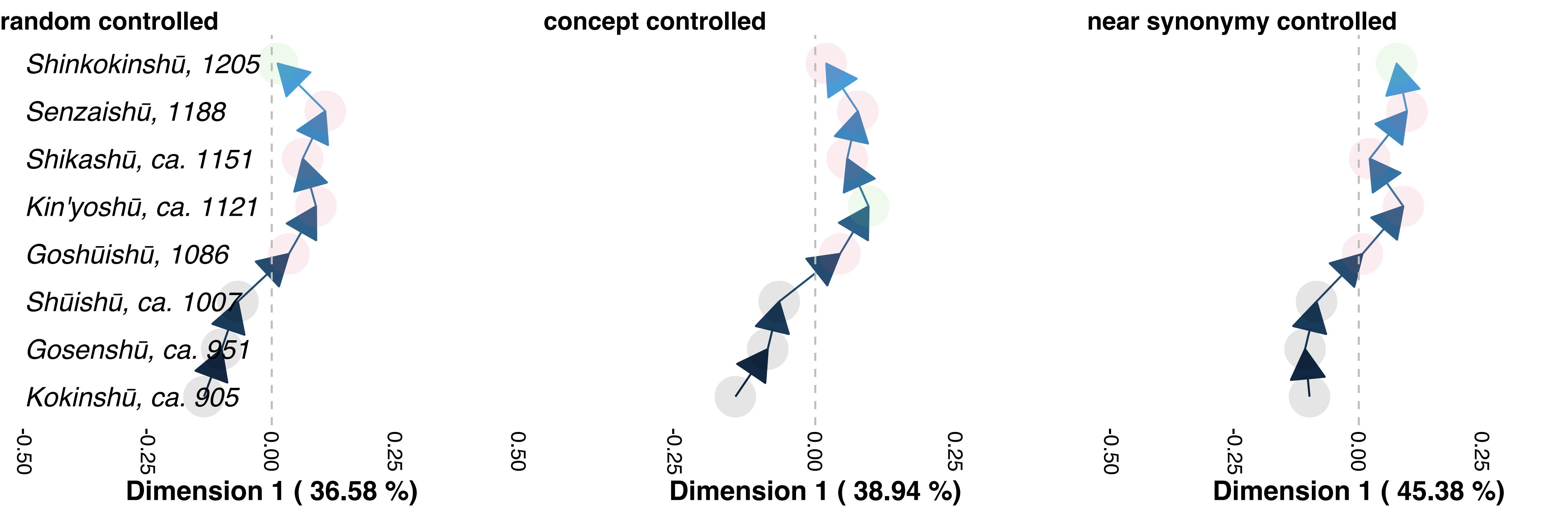
語彙プロファイ における変化

じんもんこん 2025, 2025 年 12 月 12 日

陳旭東 † ホドシチェクボル † 山元啓史 †



結果 1.



- 異なる水準のパターンに大きな相違が見られず
 - 後拾遺で正負転換（0値横断）
 - クラスタリング：
 - 「古今・後撰・拾遺」同クラスタ
 - 「後拾遺・詞花・千載」同クラスタ
 - 「新古今」「金葉」は中間水準で不一致
 - 金葉以降の往還：
 - ▽ 金葉（同時代重視）
 - ▼ 詞花（後拾遺集歌人重視）
 - ▽ 千載（同時代重視）
 - ▼ 新古今（本歌取り隆盛）

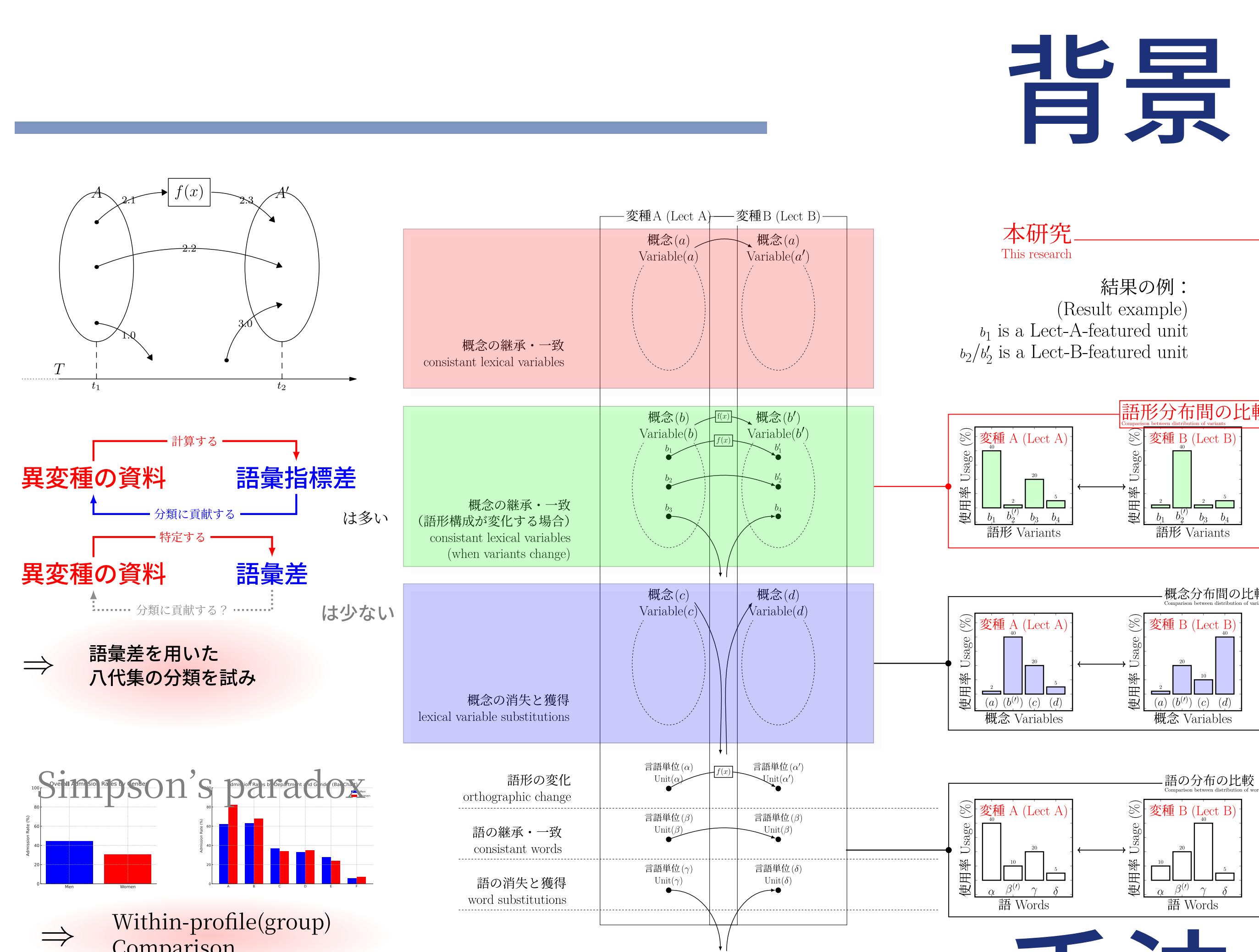
結果2.



Estimated differences among profile dissimilarity (Significant in 95% Crl only)

三水準共通点：

- ・「金葉→詞花」「拾遺→後拾遺」の変化が「古今→後撰」の変化より大きい



手法

比較対	「ムグラ」語群		八重律
	葎	八重葎	
歌集 A	100%	0%	100%
歌集 B	62.5%	37.5%	100%

Profile-based dissimilarity($A, B \mid ムグラ$)

$$\begin{aligned}
 \text{From-based dissimilarity}(A, B) &= |1.00 - 0.625| + |0.00 - 0.375| \\
 &= 0.75
 \end{aligned}$$

Comparison by likelihood ratio test return p value

Figure 1. A schematic diagram of the experimental setup. The two red circles represent the two ports of the optical fiber.

$$Dissimilarity(\text{古今, 新古今} \mid \text{Category} = 1.5520\text{-植物類}) = \begin{cases} 0, & \text{if } p > 0.05 \\ D_{CB}, & \text{if } p \leq 0.05 \end{cases}$$

When Category = 1.5520-植物類

(1) 51 .10 .00 / 初日 / \ 日 /, 初日 / 初日 /, 復換 /

$$G_{1,1}^{1,1} = \frac{1}{D} \sum_{i=1}^{|Category|} Dissimilarity(\text{古今}, \text{新古今} | Category=i)$$

$$GlobalDissimilarity(\text{古今}, \text{新古今}) = \frac{\sum_i d(x_i, y_i)}{|\text{Category}|}$$

古今

後撰

拾遺

後拾遺

金葉

詞花

千載

新古今

古今
後撰
拾遺
後拾遺
金葉

古今,詞花
後撰,金葉集
古今 千載
後撰 千載集

後撰,金葉集
古今,詞花
後撰,千載
古今 千載

後拾遺,詞花集
後拾遺,金葉
後拾遺,千載
後拾遺,千載

後拾遺,金葉
後拾遺,千載
後拾遺,千載
後拾遺,千載

後拾遺,金葉
後拾遺,千載
後拾遺,千載
後拾遺,千載

.00
.00

GD 古今,新古今 *GD* 後撰,新古今 *GD* 拾遺,新古今 *GD* 後拾遺,新古今 *GD* 金葉,新古今 *GD* 詞花,新古今 *GD* 千載,新古今 .00 新古今